

事業環境改善のための関係府省庁連絡会議（第6回）

（開催要領）

1. 開催日時：2020年4月20日（月）16:00～16:20
2. 場 所：ウェブ上で開催
3. 出席者：
 - 西村 康稔 経済再生担当兼全世代型社会保障改革担当
兼内閣府特命担当大臣（経済財政政策）
 - 西村 明宏 内閣官房副長官
 - 内閣官房日本経済再生総合事務局次長
 - 内閣官房IT総合戦略室参事官
 - 内閣府規制改革推進室次長
 - 金融庁総合政策局政策立案総括審議官
 - 総務省大臣官房審議官（税務担当）
 - 法務省大臣官房司法法制部長
 - 法務省大臣官房審議官（民事局担当）
 - 財務省国際局長
 - 財務省大臣官房審議官（主税局担当）
 - 財務省大臣官房審議官（関税局担当）
 - 国税庁長官官房審議官
 - 厚生労働省政策立案総括審議官（統計、総合政策、政策評価担当）
 - 国土交通省港湾局長
 - 国土交通省大臣官房建設流通政策審議官
 - 国土交通省大臣官房技術審議官

（議事次第）

1. 開会
2. 議事
 - 新KPI、新KPI達成に向けての取組について
 - 長期的な取り組みの検討状況について
3. 閉会

（配布資料）

- 資料：事業環境改善に向けた取組について（改訂2020）（案）
- 参考資料：事業環境改善に向けた取組について（改訂2020）（案）（概要）

【開会】

風木内閣官房日本経済再生総合事務局次長より開会が宣言された。

続いて、西村経済再生担当兼全世代型社会保障改革担当兼内閣府特命担当大臣（経済財政政策）より、新型コロナウイルス感染症によるピンチを未来に向けた社会変革の契機とし、これを教訓として、日本の社会を一気に10年進化させるため、世界最高水準の事業環境を実現するための改革は大きな第一歩であり、新たな目標として、2030年のG20で1位を掲げて、改革を断行することとしたい旨、また、本年夏の成長戦略の策定に向けて、世界最高水準の事業環境を実現するため、引き続き、関係省庁が連携して、検討を進めていただきたい旨、発言があった。

【議事：世界銀行の事業環境ランキングに関する新KPI、新KPI達成に向けての取組、及び長期的な取り組みの検討状況について】

内閣官房日本経済再生総合事務局より、新KPI及び新KPI達成に向けての取組について説明があった。

その後、各省より、取り組みの検討状況について発言があった。

【閉会】

西村内閣官房副長官より、本日は新たなKPIが決まった重要なキックオフの日であり、まずは、G20で1位を見据えながらも、補助指標にある「2025年までにG20で4位」を目指し、関係省庁はしっかりと取り組んでほしい旨、また、今回の事業改善に向けた取組は、各府省で完結せず、横断的な対応が必要であり、政府全体が一丸となって取り組むため、内閣官房は、関係省庁と連携して、対応してほしい旨、発言があった。

最後に、西村経済再生担当兼全世代型社会保障改革担当兼内閣府特命担当大臣（経済財政政策）より、新型コロナウイルス感染症の危機克服を契機に、遅れている分野を一気に10年進化させるという思いで取り組んでいきたい旨、また、世界最高水準の事業環境の実現は、成長戦略の最も大きな柱であり、本日とりまとめた内容を、夏の成長戦略にもしっかりと盛り込むことによって、取組のギアを上げて、2030年をキーとして、我が国の社会変革の実現をしていきたい旨、発言があった。

（以上）